

ふりがな 氏 名	つじ あい 辻 愛	職 名	講 師
取 得 学 位	2016.3.31	学会での受賞歴	なし
主な担当科目	ライフステージ栄養学1、ライフステージ栄養学2、応用栄養学実習		
所 属 学 会	日本栄養・食糧学会、日本栄養改善学会、日本農芸化学会、生化学会、JSOFF、日本アミノ酸学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
1) パワーポイントによる授業の実施および LMS による自宅学習の促進	令和 3 年 9 月から令和 4 年 3 月	「食品学各論(神戸学院大学)」では、食品成分や加工、食品表示について講義した。パワーポイントに音声吹き込んだ動画を作成し、LSM で受講者に公開し、自宅学習ができるようにした。また、学生が復習と自身の理解度を確認する LMS を用いた課題学習を実施した。
2) 動画媒体、机間指導やレポートを介した丁寧な個別指導	平成 30 年 4 月から令和 5 年 3 月(奈良女子大学) 令和 2 年 10 月から令和 4 年 3 月(神戸学院大学)	「基礎栄養学実験(奈良女子大学)」「食品額総論実験(神戸学院大学)」を受講する学生の、実験スキル習得を目的として、実験操作の動画を用いた実験技術の指導を実施した。机間指導を行いレポートの書き方など実験の基礎を丁寧に個別指導した。
3) データへの理解を深めるために実験結果を用いた討論、グループワークの実施	平成 30 年 4 月から令和 5 年 3 月(奈良女子大学) 令和 4 年 4 月から令和 5 年 8 月(神戸学院大学)	「病態生理・生化学実験(奈良女子大学)」では、疾患モデルマウスの生化学検査値を測定させ、その値を統計ソフトで解析し、班内でマウスの病態について討論させた。病態や学術研究について理解を深めさせた。 「食品学各実験(神戸学院大学)」では、ある食材のたんぱく質、脂質、炭水化物(糖質)、水分を定量させ、その実験値をクラスで共有し、気づいた点をグループ内でまとめ発表させた。食品の特性や成分定量方法の特性、限界について理解を深めさせた。
4) 事前アンケートによる学生の学習課題の把握と、それを踏まえた講義の実施、確認問題と学内模試問題の作成	令和 3 年 10 月から令和 5 年 3 月(神戸学院大学)	「食べ物と健康」の食品学各論分野を担当した。事前アンケートをとり、学生の要望と過去問出題傾向を踏まえた講義内容とオリジナル問題、解説を作成し、学生自身が理解度を把握できるように工夫した。 学内模試では、「食べ物と健康」の「食品と分類、成分」「食品の規格基準」「食品の生産・加工・保存・流通と栄

養」の問題および解説を作成し学生の理解を促した。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
論文	Binding of Catechins to Staphylococcal Enterotoxin A	共	平成30年4月	Molecules. 23巻	Shimamura Y, Utsumi M, Hirai C, Nakano S, Ito S, <u>Tsuji A</u> , Ishii T, Hosoya T, Kan T, Ohashi N, Masuda S. p. 1125
	Implications of PI3K/AKT/PTEN signaling on superoxide dismutases expression and in the pathogenesis of Alzheimer's disease.	共	平成30年6月	Diseases. 6巻	Matsuda S, Nakagawa Y, <u>Tsuji A</u> , Kitagishi Y, Nakanishi A, Murai T.
	By using either endogenous or transplanted stem cells, which could you prefer for neural regeneration?	共	平成30年10月	Neural Regeneration Research. 13巻	Matsuda S, Nakagawa Y, Amano K, Ikeda Y, <u>Tsuji A</u> , Kitagishi Y. p. 1731-1732
	Effects of biotin deficiency on the excretion of B-group vitamins in mice	共	令和1年2月	Journal of Clinical Nutrition and Metabolism. 3巻	<u>Tsuji A</u> , Shibata K p. 1-6
	Roles of PI3K/AKT/GSK3 pathway involved in psychiatric illnesses.	共	令和1年2月	Diseases. 7巻	Matsuda S, Ikeda Y, Murakami M, Nakagawa Y, <u>Tsuji A</u> , Kitagishi Y. p. 22
	ビタミン栄養が卵母細胞の減数分裂におよぼす影響	単	令和1年3月	家政学研究. 65巻	<u>辻愛</u> p. 61-66
	Diet induces hepatocyte protection in fatty liver disease via modulation of PTEN signaling	共	令和1年3月	Biomedical Report. 12巻	Ikeda Y, Murakami M, Nakagawa Y, <u>Tsuji A</u> , Matsuda S. p. 295-302
	Special bioactive compounds and functional foods may exhibit neuroprotective effects in patients with dementia (Review)	共	令和2年8月	Biomedical Reports. 13巻	Murakami M, Ikeda Y, Nakagawa Y, <u>Tsuji A</u> , Kitagishi Y, Matsuda S. p. 1
	Role of tumor suppressor molecules in genomic perturbations and damaged DNA repair involved in the pathogenesis of cancer and neurodegeneration (Review)	共	令和2年9月	Biomedical Reports. 13巻	Matsuda S, Murakami M, Ikeda Y, Nakagawa Y, <u>Tsuji A</u> , Kitagishi Y. p. 10

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	Comprehension of the relationship between autophagy and reactive oxygen species for superior cancer therapy with histone deacetylase inhibitors	共	令和3年 7月	Oxygen. 1巻	Ikeda Y, Nagase N, <u>Tsuji A</u> , Taniguchi K, Kitagishi Y, Matsuda S. p. 22-31
	Secretome-microRNA and anti-proliferative APRO family proteins as cancer prevention and stem cell research strategies	共	令和3年 9月	Biocell. 46巻	Ikeda Y, Nagase N, <u>Tsuji A</u> , Taniguchi K, Kitagishi Y, Matsuda S. p. 1163-1167
	Implications of Gut-Brain axis in the pathogenesis of Psychiatric disorders	共	令和3年 10月	AIMS Bioengineering. 8巻	Taniguchi K, Ikeda Y, Nagase N, <u>Tsuji A</u> , Kitagishi Y, Matsuda p. 243-256
	D-Leucine protects oocytes from chronic psychological stress in mice	共	令和3年 10月	Reproductive Medicine and Biology. 20巻	<u>Tsuji A</u> , Ikeda Y, Murakami M, Kitagishi Y, Matsuda S. p. 477-484
	Neuroprotection by dipeptidyl-peptidase-4 inhibitors and glucagon-like peptide-1 analogs via the modulation of AKT-signaling pathway in Alzheimer's disease.	共	令和3年 11月	World J Biol Chem. 12巻	Ikeda Y, Taniguchi K, Sawamura H, <u>Tsuji A</u> , Matsuda S. p. 104-113
	D-Amino acids as a biomarker in Schizophrenia	共	令和4年 1月	Diseases. 10巻	Taniguchi K, Sawamura H, Ikeda Y, <u>Tsuji A</u> , Kitagishi Y, Matsuda S. p. 9
	. Efficacy of probiotics on the modulation of gut microbiota in the treatment of diabetic nephropathy	共	令和4年 3月	World Journal of Diabetes. 13巻	Nagase N, Ikeda Y, <u>Tsuji A</u> , Kitagishi Y, Matsuda S. p. 150-160
	Reduction of oocyte lipid droplets and meiotic failure due to biotin deficiency was not rescued by restoring the biotin nutritional status	共	令和4年 6月	Nutrition Research and Practice. 16巻	<u>Tsuji A</u> , Ikeda Y, Murakami M, Kitagishi Y, Matsuda S. p. 314-329
	Promising role of D-amino acids in irritable bowel syndrome	共	令和4年 8月	World Journal of Gastroenterol. 28巻	Ikeda Y, Taniguchi K, Sawamura H, <u>Tsuji A</u> , Matsuda S. p. 4471-4474

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
論 文	Presumed Roles of APRO Family Proteins in Cancer Invasiveness	共	令和4年10月	Cancers (Basel). 14 巻	Ikeda Y, Taniguchi K, Sawamura H, Yoshikawa S, Tsuji A, Matsuda S. p. 4931
	A budding concept with certain microbiota, anti-proliferative family proteins, and engram theory for the innovative treatment of colon cancer	共	令和4年10月	Exploration of Medicine. 3 巻	Ikeda Y, Taniguchi K, Sawamura H, Yoshikawa S, Tsuji A, Matsuda S. p. 468-478
	A New Concept of Associations between Gut Microbiota, Immunity and Central Nervous System for the Innovative Treatment of Neurodegenerative Disorders	共	令和4年11月	Metabolites 12 巻	Yoshikawa S, Taniguchi K, Sawamura H, Ikeda Y, Tsuji A, Matsuda S. p. 1052
	Potential Diets to Improve Mitochondrial Activity in Amyotrophic Lateral Sclerosis	共	令和4年12月	Diseases 10 巻	Yoshikawa S, Taniguchi K, Sawamura H, Ikeda Y, Tsuji A, Matsuda S. p. 117
	Encouraging Tactics with Genetically Modified Probiotics to Improve Immunity for the Prevention of Immune-Related Diseases including Cardio-Metabolic Disorders	共	令和4年12月	Biomolecules 13 巻	Asai T, Yoshikawa S, Ikeda Y, Taniguchi K, Sawamura H, Tsuji A, Matsuda S. p. 10
	Encouraging probiotics for the prevention and treatment of immune-related adverse events in novel immunotherapies against malignant glioma	共	令和4年12月	Exploration of Targeted Anti-tumor Therapy 3 巻	Yoshikawa S, Taniguchi K, Sawamura H, Ikeda Y, Tsuji A, Matsuda S. p. 817-827
	Metabolic Associated Fatty Liver Disease as a Risk Factor for the Development of Central Nervous System Disorders	共	令和5年1月	Livers 3 巻	Yoshikawa S, Taniguchi K, Sawamura H, Ikeda Y, Asai T, Tsuji A, Matsuda S. p. 21-32
	The Tryptophan and Kynurenine Pathway Involved in the Development of Immune-Related Diseases	共	令和5年3月	International Journal of Molecular Sciences 24 巻	Tsuji A, Ikeda Y, Yoshikawa S, Taniguchi K, Sawamura H, Morikawa S, Nakashima M, Asai T, Matsuda S. p. 5742

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
学会発表	ビオチン欠乏食が尿中水溶性ビタ ミン排泄量に及ぼす影響(口頭発 表)	共	平成 30 年 12 月	第 57 回日本栄養食糧学 会近畿支部大会(奈良)	<u>辻愛</u> 、柴田克己
	ビオチン欠乏による減数分裂異常 とその要因の解明(ポスター発表)	共	令和1年 9 月	第 92 回日本生化学会大 会 (横浜)	<u>辻愛</u> 、池田祐香、中川友希江、 村上睦美、北岸靖子、柴田克 己、松田覚
	脂質代謝に関与する食成分が卵 子の健康に及ぼす影響(ポスター 発表)	共	令和1年 9 月	第 92 回日本生化学会大 会 (横浜)	池田祐香、中川友希江、村上睦 美、 <u>辻愛</u> 、北岸靖子、松田覚
	ビオチン不足によって卵子中の脂 肪滴量は減少する(口頭発表)	共	令和 2 年 9 月	第 74 回日本栄養・食糧 学会大会(オンライン・仙 台)	<u>辻愛</u> 、樺澤理紗子、池田祐香、 中川友希江、村上睦美、北岸 靖子、松田覚
	ビオチン欠乏および再摂取が卵子 中脂肪滴、卵巣中脂質代謝におよ ぼす影響(ポスター発表)	共	令和 2 年 9 月	第 93 回日本生化学会大 会 (オンライン・東京)	<u>辻愛</u> 、樺澤理紗子、池田祐香、 中川友希江、村上睦美、北岸 靖子、松田覚
	心理的ストレス環境下における D- アスパラギン酸の卵子およびホル モンに対する影響(ポスター発表)	共	令和 3 年 7 月	第 75 回日本栄養・食糧 学会大会(オンライン・東 京)	<u>辻愛</u> 、柴田桜、長瀬のぞみ、池 田祐香、北岸靖子、松田覚
	慢性的ストレス環境がもたらすマウ スへの影響と行動テストによる検出 (ポスター発表)	共	令和 3 年 11 月	第 94 回日本生化学会大 会 (オンライン・横浜)	長瀬のぞみ、池田祐香、北岸靖 子、 <u>辻愛</u> 、松田覚
	D-ロイシンは慢性的心理ストレス から卵子を保護する(口頭発表)	共	令和 4 年 6 月	第 76 回 日本栄養・食糧 学会大会(神戸)	<u>辻愛</u> 、池田祐香、北岸靖子、松 田覚
	腎障害の炎症緩和に関与する食 品成分の探索(ポスター発表)	共	令和 4 年 11 月	第 95 回日本生化学会大 会(名古屋)	池田祐香、谷口紅瑠実、 <u>辻愛</u> 、 松田覚
	精神的ストレスもしくはカラギーナ ン経口摂取によるマウスの行動異 常(ポスター発表)	共	令和 4 年 11 月	第 95 回日本生化学会大 会(名古屋)	谷口紅瑠実、澤村悠、池田祐 香、 <u>辻愛</u> 、松田覚
ストレスによる卵子への影響と酪酸 摂取による改 善効果の検討(ポ スター発表)	共	令和 4 年 11 月	第 95 回日本生化学会大 会(名古屋)	澤村悠、谷口紅瑠実、池田祐 香、 <u>辻愛</u> 、松田覚	
その 他	学会大会運営 日本農芸化学会 2022 年度プログ ラム編成委員(食物領域)		令和 4 年 3 月	日本農芸化学会 2022 年 度 (京都)	会長:松山 旭 編成委員:谷史(京都大学)人、 後藤剛(京都大学)

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称(会場名)	備 考
その他	第 25 回フードサイエンスフォーラムの 実行委員を務めた		令和 4 年 9 月	第25回フードサイエンス フォーラム(神戸)	本実行委員: 吉岡泰淳(静岡県立大学)、辻愛 世話人: 三好規之(静岡県立大学)、石井剛志(神戸学院大学)、保田倫子(椋山女学園大学)